

電子入札システムによる《制限付一般競争入札・事後審査型》

<登録事業者>

入札前の手続きは必要ありません

全入札参加者

【入札書】

【工事費等内訳書】
(ファイルを添付)

【入札書受付票】

保留通知書送付のお知らせ
(電子メールにて、案件ごと)

【保留通知書】を確認
(電子入札システム)

【保留通知書】において 審査順が1位の落札候補者のみ

(様式2)

一般競争入札参加資格確認申請書

(様式3)

同種工事施工実績書

(同種業務履行実績書)
契約書(写)、工事カルテ等、実績の
内容が分かる書類を添付

(様式4)

配置予定技術者経歴書

資格保有状況、雇用関係が
分かる書類を添付。

その他、案件ごとに指定する資料
(ISO9001認証登録証の写しなど)

消費税及び地方消費税に関する
申立書

経営規模等評価結果通知書・
総合評定値通知書
工事のみ

【落札結果通知書】

<札幌市>

告示

(通常、毎週水曜日)
札幌市入札情報サービス
でご覧いただけます。

入札受付期間

(通常、2日間)

開札

(通常、開札予定日の
9:00又は9:30から、
順次行います。)

保留

審査順1位の落札候補
者について、提出された
資料により資格審査を行
います。

参加資格が認められ
ない場合、審査順2位以
下の参加者から、順次、
申請書等の提出を求め、
資格審査を行います。

落札決定

送信
(電子入札システム)

送信
(電子入札システム)

送信
(電子メール)

期限までに持参

入札控室に投函
又は
契約管理課窓口へ持参

送信
(電子入札システム)

よくある質問等

1 Q. 入札の告示はどこで見ることができますか。

A. 札幌市入札情報サービスでご覧いただけます。

(アドレス) <https://www.nyusatsu.city.sapporo.jp/PPI/Public/Server?ID=01>

(手順)

「工事・設計等・除雪」メニュー内、「入札等案件情報」

調達区分で、「工事」・「設計等」・「除雪」のいずれかを選択

工種(業種)など、検索条件の入力
全ての欄を入力する必要はありません。

ページ下部の「検索」ボタンをクリック

案件一覧の中から、調達案件名称をクリックし、情報詳細画面へ

最下段の告示別表(pdf形式)を開くと、詳細な入札参加条件等を確認できます。

2 Q. 申請書等、入札・契約関係の書式はどこで入手できますか。

A. 札幌市入札情報サービスの「工事・設計等・除雪」メニュー内、「共通ファイルダウンロード」から、書式全般をダウンロードすることができます。

(各種申請書様式、入札説明書、契約変更時の請書、建退共関係書式等を掲載しています。)

Q. 入札時に添付する工事費等内訳書のファイル名には何を書けばよいですか。

A. 入札説明書に例を記載しています。 記載例 : (株)・工事費等内訳書・0803000911
(調達案件番号)

記載例と異なるファイル名で提出しても、それにより失格になる等の影響はありません。

「株」などの禁則文字は、送信エラーの原因となるため使用できません。

送信エラーが生じた場合は、「内訳書」などの簡略なファイル名に変更し、再度送信してみてください。

3 Q. 開札時の保留通知書はどこで見ることができますか。

A. 電子入札システムで確認できます。

「調達案件検索」画面で検索条件を設定し、左側メニューの「入札状況一覧」をクリック

調達案件名称の右側「受付票 / 通知書 一覧」の「表示(未参照あり)」をクリック

通知書一覧の中から、保留通知書の「表示」を選択

4 Q. 開札時の保留通知書を見ると、審査順が2位でした。申請書、資料の提出は必要ですか。

A. 本市から個別の連絡があるまでは、必要ありません。

審査順が1位の方のみ資料を提出していただき、資格審査を行います。

その結果、参加資格が認められない場合、2位以下の方から順次、申請書等を提出していただきます。

5 Q. 電子入札での「再入札」はどのように行われますか。

A. 第1回目の入札で、予定価格の範囲内での入札者がいない場合、下記の手順で再入札を行います。

開札の結果、再入札が必要な場合、入札参加者へ「再入札通知書」を送信します。

再入札の受付開始・締切・開札の予定日時等をお知らせします。

再入札の受付期間は、通常、開札日の翌開庁日の9:00～17:00に設定します。

再入札の受付

(再入札の方法は第1回目の入札と同様です。工事費等内訳書は添付不要です。)